



肺炎球菌多糖体ワクチンについて Pneumococcal Polysaccharide Vaccine

過去 50 年間、カナダでは予防接種によって、他のどの健康対策よりも多くの命が救われてきました。

肺炎球菌多糖体ワクチンとは？

肺炎球菌多糖体ワクチンは、23 種類の肺炎球菌感染症を予防します。このワクチンは、カナダ保健省に承認されています。

肺炎球菌多糖体ワクチンは、小児の定期予防接種のスケジュールには含まれていません。小児用肺炎球菌ワクチンの定期接種については、以下をご覧ください。[ヘルスリンク BC ファイル#62a 肺炎球菌共役\(PCV 13\)ワクチン](#)

ワクチンを接種すべき人は？

肺炎球菌感染症で病気になるリスクが高い方の方がいます。下記を含むこのような方には、無料でワクチンが提供されています：

- 65 歳以上の高齢者
- 年齢に関係なく、看護付きの介護施設、介護付き住宅の居住者

また、2 歳以上で、以下の条件に当てはまる場合には、無料でワクチンが提供されています：

- 脾臓がない、または脾臓が正常に機能していない方
- 鎌状赤血球病の方
- 病気や医療行為によって免疫システムが弱っている方
- 肝硬変、B 型または C 型慢性肝炎を含む慢性肝疾患の方
- 慢性腎臓病の方
- 慢性心疾患もしくは肺疾患のある方

- 脾臓細胞または固形臓器移植、人工内耳移植を受けた方、または移植待機中の方
- 幹細胞移植を受けた方
- 糖尿病、嚢胞性線維症、慢性脳脊髄液漏出症の方
- アルコール依存症の方
- ホームレスの方
- 違法薬物の使用者、特にクラック・コカインを吸っている方

特定の病状がある方には、2 回目のワクチン接種が推奨されています。2 回目の接種が必要かどうか、またいつ接種するべきかについては、医療機関にご相談ください。

すべての予防接種を記録しておくことは大切です。

肺炎球菌多糖体ワクチンによる効果はどのようなものか？

ワクチンは、重篤で時に死に至る病気である肺炎球菌感染症から身を守るための最良の方法です。

あなたが予防接種を受けることで、他の人も守ることができます。

ワクチン接種後に考えられる副反応はどのようなものか？

ワクチンはとても安全です。肺炎球菌感染症にかかるより、ワクチンを接種する方がずっと安全です。

ワクチンに対する一般的な副反応として、ワクチン接種箇所に痛み、赤み、腫れが生じることがあります。また、熱が出る場合もあります。これらの副反応は軽度で、通常 1～2 日続きます

発熱や痛みには、アセトアミノフェン（タイレノール®など）やイブプロフェン*（アドビル®など）を服用することができます。ASA（例：アスピリン®）は、ライ症候群のリスクがあるため、18歳未満の人は服用しないでください。

*イブプロフェンは、生後6ヶ月未満の子供の場合、医療従事者への相談なしに投与することはできません。

ライ症候群の詳細については、こちらをご覧ください。[ヘルスリンク BC ファイル #84 ライ症候群](#)。

100万人に1人以下と極めて稀ですが、アナフィラキシーと呼ばれる生命を脅かすアレルギー反応を起こす可能性があるため、ワクチン接種後15分間はクリニック内にとどまることが重要です。アナフィラキシーには、じんましん、呼吸困難、のどや舌、唇の腫れなどが含まれることがあります。この反応が起こった場合、医療機関での治療準備があります。緊急処置には、エピネフリン（アドレナリン）の投与と、救急車による最寄りの救急診療所への搬送が含まれます。クリニックを出た後に症状が出た場合は、**9-1-1** または地域の緊急電話番号に電話してください。重篤な反応や予期せぬ反応は、必ず医療従事者に報告することが重要です。

肺炎球菌多糖体ワクチンを接種すべきでない人は？

過去に肺炎球菌ワクチン、またはワクチンの成分に対して生命を脅かすような反応を起こしたことがある場合は、医療従事者に相談してください。

2歳未満の子どもには、肺炎球菌多糖体ワクチンは有効でないため、接種してはいけません。この年齢の子どもは、生後2か月から肺炎球菌結合型ワクチンを接種します。

風邪や軽い病気を理由に、予防接種を遅らせる必要は

ありませんが、心配な場合は、医療機関に相談してください。

肺炎球菌感染症とは？

肺炎球菌感染症は、肺炎球菌によって引き起こされます。この細菌は、脳を覆う膜に感染する髄膜炎、血液に感染する敗血症、肺に感染する肺炎など、生命を脅かす重篤な感染症を引き起こします。

感染による永続的な合併症として、脳障害や難聴があります。肺炎球菌性髄膜炎にかかると、4人に1人が死亡する可能性があります。

肺炎球菌感染症は、咳やくしゃみ、対面での接触で人から人へ感染します。また、唾液を介して感染することもあります。感染は、キスや、食べ物、飲み物、タバコ、口紅、水筒、スポーツで使用するマウスガード、楽器のマウスピースなどの共有によって起こる可能性があります。

未成年者の同意

予防接種の同意については、保護者の方とお子様で話し合うことが推奨されています。各ワクチンの効果や起こりうる反応、予防接種を受けない場合のリスクを理解できる19歳未満の子どもは、法的に予防接種に同意することも拒否することもできます。未成年者の同意に関する詳細は、[ヘルスリンク BC ファイル#119 乳幼児法、未成年者の同意および予防接種について](#)をご覧ください。

予防接種の詳細は、<https://immunizebc.ca/>の予防接種 BC をご覧ください。



ImmunizeBC



BC Centre for Disease Control
Provincial Health Services Authority